

東日本大震災復興検証事業（復興 10 年の総括検証）について

1 令和元年度の実績

- ・インタビュー調査の実施及び報告書等を作成したテーマ数 **16テーマ**
 調査に協力頂いた職員数 話し手： 延べ228名
 聴講者： 延べ124名

2 令和2年度の取組状況

5月 第69回震災復興本部において、事業の概要説明と各部局への協力要請を実施

6月 各部局へ部局意見照会を実施（テーマの見直し及び実施時期・方法の調整）

9月 各部局に対し、調査テーマの重要ポイント抽出及び人選（事前調整）を依頼

◆ **検証テーマ数を80テーマ（当初）から72テーマに見直し** ※別添一覧を参照

9月15日～ インタビュー調査の再開（実施したテーマ「県外避難者支援」「災害公営住宅の整備」）

調査に協力頂いた職員等 話し手：15名

聴講者：延べ24名



インタビュー調査の実施状況



聴講者から話し手への質問の様子

3 今後の事業実施の予定

- 職員インタビュー調査の展開（報告書・映像の作成を含む）

今年度中に**30テーマ**、令和3年度に**26テーマ**の調査を実施する

近日中に実施予定のテーマ

「国への復興財源等の要望」「被災地視察対応」「災害ボランティア」
 「上下水道の復旧」「港湾施設の復旧」「埋蔵文化財発掘調査」

- 震災当時の県幹部職員等の証言集の作成

→兵庫県の「翔べフェニックス」を参考に、宮城県版の書物を作成する（資料5-2参照）。

- ポータルサイトの構築

→本事業の報告書等に加え、既存の記録誌等を集約したサイトを構築する（資料5-3参照）。